

西日本・カンボジア友好協会 MOTTAINAIプロジェクト

国際人権ネットワーク 希望小学校
サッカーシューズ支援 報告書



概要

今回、西日本・カンボジア友好協会様、MOTTAINAIプロジェクト様より40足のサッカーシューズをお預かりし、当社が支援活動を行うカンボジア モンドルバイ村 希望小学校の子どもたちに贈呈し、サッカー教室を行いました。
元サッカー日本代表である岩本輝雄氏や日本からの支援者とともに、子どもたちにサッカーを指導し、子どもたちの健全育成と教育活動へと役立てられました。

日にち 2014年7月12日(土)～7月13日(日)



MOTTAINAIプロジェクトは、古くなったり、サイズが合わなくなったりしたサッカーシューズを、東南アジア及び発展途上国の子どもたちに贈る国際貢献活動です。シューズは、佐賀県の障害者支援施設 青葉園の子どもから成人までの障がいを持った方々によって磨かれており、再生したシューズは世界各地へ届けられています。今回、希望小学校で元サッカー日本代表 岩本輝雄氏によるサッカー教室を行いました。寄贈いただいたサッカーシューズは授業に参加した生徒に渡し、残りは授業や自由時間の際に使用していくこととしています。初めてサッカーシューズを履いてサッカーを行う子どもたちは、皆喜んでシューズを選び、紐の通し方や結び方を教わり着用していました。普段は、裸足やゴム草履でしかサッカーを経験していない子どもたちにとって、今回のサッカーシューズ贈呈は貴重な体験となりました。



国際人権ネットワーク・希望小学校とは

当社が支援している「国際人権ネットワーク」は、代表 緒方由美子氏が1996年からカンボジア王国・シェムリアップ州を拠点に、地雷被害者の方が多く生活している村への物資支援・教育支援等の自立支援を行うNGO団体です。

主な活動として、地雷被害者が多く暮らす村「モンドルバイ村の支援」と、完全無料の小学校「希望小学校の運営」に従事しています。

18年前、電気も水道もないこの村で緒方氏は支援を開始し、様々な困難・苦境に立ち向かいながら村人との信頼関係を築きあげ、今日までの活動を継続してきました。物資の支援に加え、教育の大切さを実感した緒方氏は、無料で通える希望小学校を設立・運営しています。この希望小学校では、制服・ゴム草履・教科書・文具等が支給されるほか、日本の文化を取り入れた教育活動が行われており、年に数回日本からの支援者が現地を訪れています。